



橋山大観「不二霊峰」昭和11年頃（左装）



（右装）

近代日本画の流れ—光ミュージアムコレクションより—



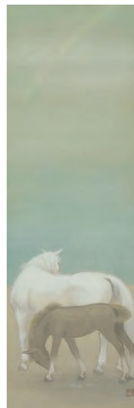
安田敬彦「観音」大正14年頃



前田青嶺「屋島」大正6年頃
©YAMADA & JASPAR, Tokyo, 2023 E2325



鎌木清方「権八小唄」大正12年頃



東山魁夷「馬」昭和15年

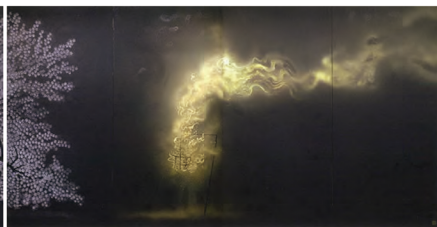
文明開化を迎えて目まぐるしく変化する明治の世。日本画家たちは、伝統を継承しながらも新たな時代にふさわしい絵画の創造のため筆を揮いました。

岡倉天心が主宰した日本美術院では、横山大観、下村観山、薮田春草ら新鋭の画家たちが画壇を賑わせます。天心没後、一時休止していた美術院が再興し、安田敬彦や前田青嶺など次世代の画家が台頭します。また、京都の画壇では、竹内栖鳳とその門下が活躍しており、特に上村松園は、東京の鎌木清方と並び称され近代美人画を牽引しました。よりよい作品を制作するため研磨を重ねた画家たちの思いは加山文造や東山魁夷など、戦後を代表する画家に引き継がれて今日に至ります。

本展では、岐阜県高山市に所在する光ミュージアムに所蔵されている近現代の日本画コレクションを中心に近代日本画の流れを紹介いたします。当館所蔵の「万葉日本画」を描いた作家たちに紡がれた日本画の軌跡を辿るものです。



加山文造「夜桜」昭和57年（左装）



（右装）

【関連イベント】

光ミュージアム学芸員による
オースニングギャラリートーク

要観覧券・申込不要

講師：今泉たまみ氏（光ミュージアム主任学芸員）
日時：令和5年8月5日（土）14時～
場所：奈良県立万葉文化館 日本画展示室

当館担当学芸員によるギャラリートーク


要観覧券・申込不要

日時：令和5年8月6日（日）14時～、8月16日（水）15時40分～、9月20日（水）15時40分～
場所：奈良県立万葉文化館 日本画展示室



【交通案内】

- ※駐車場に空きがあるため、ご来館には公共交通機関をご利用ください。
- 近鉄橿原駅前駅東口または飛鳥島より
- 近鉄橿原駅前駅西口下車すぐ
- 奈良交通バス案内センター TEL:0742-20-3100
- 近鉄橿原駅前駅よりタクシー（約10分）

 奈良県立万葉文化館

〒634-0103 奈良県高市郡明日香村辰島10
TEL: 0744-54-1850 FAX: 0744-54-1852 HP: <https://www.manyo.jp>